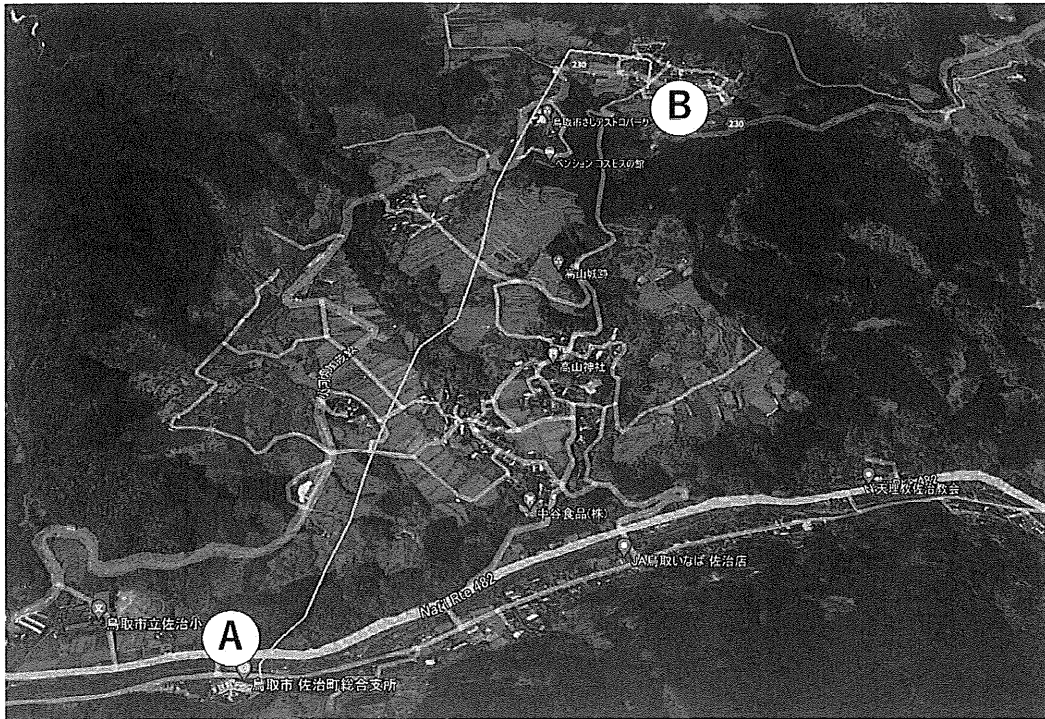


令和6年3月会議

一般質問 参考資料

大山 希世 議員

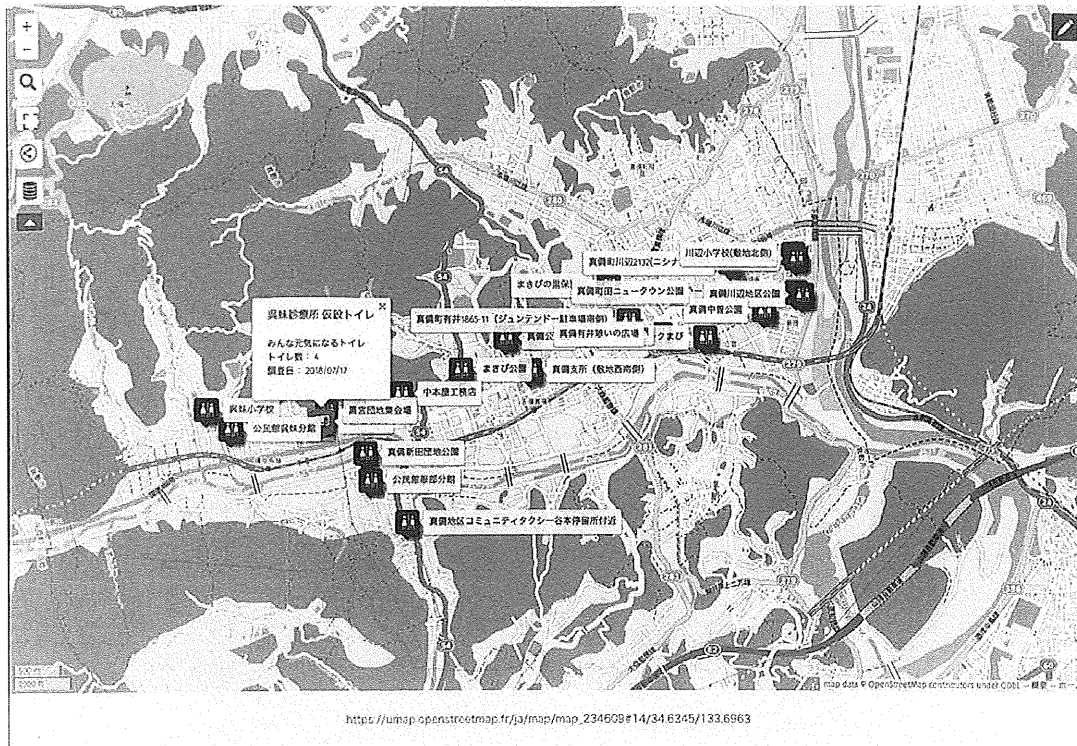
飛行ルート (A 地点から B 地点までの 1.5 キロをわずか 5 分で飛行)



エアロセンス 実証実験レポートより引用

クライシスマッピングにより、リアルタイムで更新された岡山県真備町の仮設トイレの場所(2018年の西日本豪雨災害時)

Temporary Toilets map



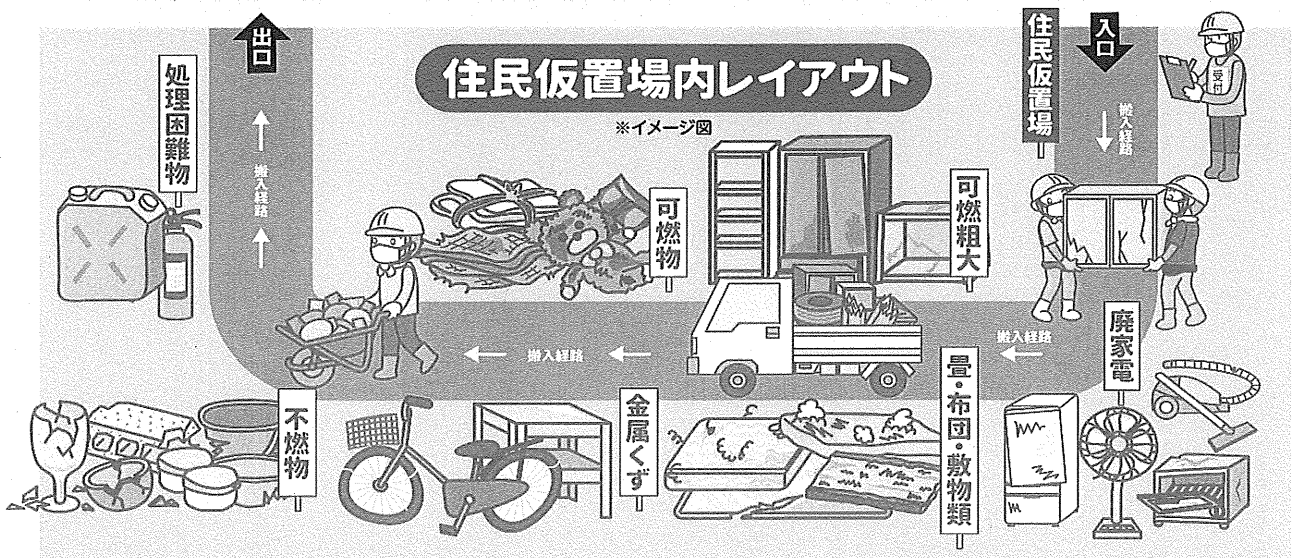
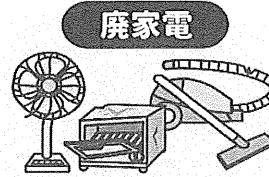
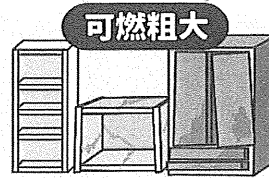
Sony Startup Acceleration Program から引用

※クライシスマッピングとは、被災地の状況が撮影された写真を使い最新の被災状況を反映した地図のこと。

住民仮置場内でのルール

分別・排出方法などは、災害の状況に応じて住民のみなさんにお知らせします。

廃棄物 受入区分



※地域によっては、家の近くに設置される「住民仮置場」だけでなく、町が設置する大規模な「仮置場」へ排出していただく場合があります。
 ※農業系のごみなどは、基本的には「住民仮置場」や「仮置場」で受入れできません。町の指示に従ってください。

平時からの備え

- 災害が起きると、普段は使っていないものもごみとなってしまいます。不要なものは、平時のうちにできるだけ処分するようにしましょう。災害時のごみを減らすだけでなく、避難通路の確保にも役立ちます。
- 家具や電化製品は、できる限り壁や天井に固定するようにしましょう。倒れにくくしておくことで、転倒によるけがを防ぎ、身を守ることにつながります。また、破損を防ぐことができ、災害時のごみを減らすことにもつながります。

(かつらぎ町 大規模災害時のごみの出し方 パンフレットより 抜粋)